

# ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド（FW専用）

月次運用報告書

追加型投資信託／内外／株式・・・ファミリーファンド方式

2024年10月31日

## [ 商品概要 ]

設定日：2022年5月31日 信託期間：約10年（2032年3月10日まで）

設定・運用：

決算日：3月10日（休業日の場合は翌営業日）

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## <商品の特徴>

### ◆投資目的

「ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド」を通じて主として、世界各国の株式の中から、クオリティが高く、イノベーションにより持続可能な成長が期待できる銘柄に投資することにより、中長期的な観点から、運用財産の成長をめざして運用を行います。

### ◆投資対象

ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。マザーファンドにおいては、日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場（上場予定を含む）している株式（預託証券（DR）を含む）に投資します。

## 設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移

2024年10月31日現在



※基準価額（税引前分配金再投資）は、信託報酬（後述の「ファンドにかかる手数料について」参照）控除後の値です

基準価額	17,818円
純資産総額	1,073百万円

## 組入比率（純資産総額対比）

ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド	99.9%
--------------------------	-------

## 基準価額騰落率（税引前分配金再投資）

	ファンド
1ヶ月	6.99%
3ヶ月	6.75%
6ヶ月	9.12%
1年	51.23%
3年	-
設定来	78.18%

※当ファンドの決算時に分配金があった場合に、その税引前分配金で当ファンドを購入（再投資）したとして計算した騰落率です

## 分配実績（税引前、1万口当たり）

決算期	分配金
第1期（2023年3月10日）	0円
第2期（2024年3月11日）	0円
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0円

## ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド 組入状況

### 資産内訳※

株式等	97.5%
現金他	2.5%
合計	100.0%

### 通貨別構成比※

米ドル	76.3%
ユーロ	9.8%
英ポンド	8.0%
日本円	3.0%
韓国ウォン	2.0%
その他の通貨	0.9%

### 国別構成比※

アメリカ	65.4%
イギリス	8.0%
台湾	5.1%
フランス	5.0%
ドイツ	2.5%
カナダ	2.5%
日本	2.4%
中国	2.3%
オランダ	2.3%
韓国	2.0%
その他の国	0.0%

### セクター別構成比※

エネルギー	1.7%
素材	0.0%
資本財・サービス	8.7%
一般消費財・サービス	10.2%
生活必需品	0.0%
ヘルスケア	14.1%
金融	4.2%
情報技術	44.1%
コミュニケーション・サービス	9.0%
公益事業	2.3%
不動産	3.3%

※比率はマザーファンド純資産総額対比です

- 本資料は金融商品取引法上及び投資信託法上の開示書類ではありません。
- 本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
- 当ファンドは主に国内外の有価証券に投資するため、組入れた有価証券の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

# ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド（FW専用）

月次運用報告書

追加型投資信託／内外／株式・・・ファミリーファンド方式

2024年10月31日

## [商品概要]

設定日：2022年5月31日 信託期間：約10年（2032年3月10日まで）

設定・運用：

決算日：3月10日（休業日の場合は翌営業日）

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド 組入状況

組入上位10銘柄※（組入銘柄数：39）

銘柄名	セクター	通貨	投資国	比率
MICROSOFT CORP	情報技術	USD	アメリカ	6.3%
NVIDIA CORP	情報技術	USD	アメリカ	6.2%
ALPHABET INC-CL C	コミュニケーション・サービス	USD	アメリカ	5.3%
TAIWAN SEMICONDUCTOR	情報技術	USD	台湾	5.1%
AMAZON COM INC	一般消費財・サービス	USD	アメリカ	4.5%
META PLATFORMS INC-A	コミュニケーション・サービス	USD	アメリカ	3.7%
SERVICENOW INC	情報技術	USD	アメリカ	3.5%
ASTRAZENECA PLC	ヘルスケア	GBP	イギリス	3.5%
AMERICAN TOWER CORP	不動産	USD	アメリカ	3.3%
MASTERCARD INC-CLASS	金融	USD	アメリカ	2.9%

※比率はマザーファンド純資産総額対比です

## 運用状況と今後の方針

### <市場動向>

#### 【国内株式市場】

10月の国内株式市場は、米長期金利の上昇やオランダの半導体製造装置ASMLホールディングの低調な決算、さらに衆議院選挙を前にした国内政治の不透明感などが重荷となりましたが、円安進行や選挙後の買い戻しに加えて米長期金利の上昇を背景に銀行などの金融株が上昇したことも相場を支えた結果、上昇しました。

#### 【先進国株式市場】

10月の海外株式市場は、米景気への楽観的な見方や主要企業の決算への期待が相場を支えましたが、米欧の長期金利上昇や中東情勢の悪化懸念に加えて、ASMLホールディングの低調な決算やマイクロソフトの売上高見通しが市場予想を下回ったことも嫌気され下落しました。地域別の月間騰落率は米国市場が約0.7%の下落、欧州市場が約2.8%の下落、アジア市場が約2.2%の下落となりました。

#### 【新興国株式市場】

10月の新興国株式市場は、中東情勢の悪化懸念や米大統領選挙を巡る不透明感、米半導体株安などが重荷となる中、下落しました。

### <運用概況>

当月のファンドの騰落率（分配金再投資）は、+6.99%となりました。

セクター別の寄与度は、良好な企業業績のトレンドを背景に堅調に推移した情報技術を始め、コミュニケーション・サービスや一般消費財・サービス、金融、ヘルスケアなどがプラスとなり、ファンドの騰落率の上昇に寄与しました。個別銘柄別では、AI向け半導体需要の高まりを背景とした順調な業績の拡大トレンドが株価の追い風となりやすい状況が継続する中、第3四半期（8-10月期）の同社データセンター部門の好調な売上高成長予想を背景に株価が大幅上昇となったエヌビディア（米国、情報技術）を始め、同じく半導体関連の台湾積体回路製造[TSMC]（台湾、情報技術）や、下旬に発表した第3四半期（7-9月期）の売上高及び当期利益が事前の市場予想を上回ったことと好感されたアルファベット（米国、コミュニケーション・サービス）、ソフトウェア関連のサーブスノウ（米国、情報技術）やセールスフォース（米国、情報技術）の他、アマゾン・ドット・コム（米国、一般消費財）やメタ・プラットフォームズ（米国、コミュニケーション・サービス）、マスターカード（米国、情報技術）、テトラ・テック（米国、資本財）、ゼネラル・モーターズ（米国、一般消費財）、パーテックス・ファーマ（米国、ヘルスケア）などの保有がプラスに寄与しました。その一方で、旺盛なAI関連の半導体需要を背景に第3四半期（7-9月期）の売上高及び当期利益が事前の市場予想を上回った一方でその他部門における低調な受注状況が嫌気され株価が大幅下落となった半導体製造装置メーカーのASMLホールディング（オランダ、情報技術）を始め、同じく半導体関連にインフィニオン・テクノロジーズ（ドイツ、情報技術）やアブライド・マテリアルズ（米国、情報技術）のほか、スパイラックス・グループ（英国、資本財）やアイデックス・ラボラトリーズ（米国、ヘルスケア）、キーエンス（日本、情報技術）などの保有がマイナスに寄与しました。

### <今後の見通し>

10月の株式市場は企業決算の本格化を控えて個別企業の材料に乏しい中、一部の企業においては決算の動向に敏感に反応するかたちで株価の変動が大きくなりましたが、全体としてはマクロ主導のやや投機的な物色が目立つ展開となりました。これまで世界経済の懸念材料となっていたインフレの落ち着きによる米欧主要国の継続的な利下げ観測から景気のソフトランディング期待が現実味を帯びる中、短期的な値幅取りを狙った高ボラティリティ（変動性）銘柄への物色が見られたほか、金融市場全体においては11月上旬の米大統領選挙における共和党勝利を見込んだ、いわゆる「トランプトレード」（ドル高、金利高、株高、原油安）が進行する動きも見られました。こうした投資行動は、トランプ氏が掲げる政策の影響を予期したものであり、トランプ氏の当選確度の高まりを受けて選挙前から徐々に織り込まれつつありましたが、11月に入ると実際の選挙結果を受けてレッドウェーブのシナリオが実現したことでさらにトレードに弾みがつく展開となりました。米大統領選挙の結果を踏まえた今後の金融市場に関する見通しは本質的にはこれから発表される具体的な政策次第にはなりますが、相対的に債券よりも株式が優位になりやすい展開が予想されます。またインフレに対する懸念については、トランプ氏が掲げる関税政策による価格押し上げ効果は一過性に留まるという意見もあり、見通しは不透明な状況です。インフレが再燃し高止まりする方向に変化した場合には、米金融当局の利下げが妨げられることで今後の金融緩和と政策の後退につながる可能性も想定されます。このようなインフレリスクや債務の増大および金融政策見通しの不確実性などを勘案すると、債券市場についてはボラティリティが高まりやすい状況にあると言えるでしょう。一方で株式市場については景気がソフトランディングに近く中での利下げ開始という良好な環境に加え、トランプ氏による減税政策などがさらなる支援材料となる見通しです。グローバルベースでみた企業業績については、今年は8%程度の利益成長に留まると予想されていますが、2025年は12%-13%程度の高い利益成長が見込まれています。今年の前半は投資家の多くがAI関連銘柄の物色に集中する動きが見られましたが、今後本格化する決算シーズンにおいては、持続的な成長を実現し自信に満ちたガイダンス（会社予想）を提示できる企業がリーダーシップを発揮することで、より多様な物色の動きが見られるものと想定しています。その中でもデジタル変革やインフラ、エネルギー転換、安全保障、人口動態などの分野で持続的な成長を活用できる合理的な価値を持つ質の高い企業に魅力的な機会が存在すると考えています。

○本資料は金融商品取引法上及び投資信託法の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に国内外の有価証券に投資するため、組入れた有価証券の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

# ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド(FW 専用)

追加型／内外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## ファンドの目的・特色

当ファンドは、「ステート・ストリート世界厳選成長株マザーファンド」への投資を通じて、中長期的な観点から、運用財産の成長をめざして運用を行います。

1. マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場(上場予定を含みます。)している株式(預託証券(DR)を含みます。)へ投資します。
2. 当ファンドは、「ファミリーファンド方式」により運用を行います。
3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## 投資リスク

当ファンドは、主にマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の株式等に投資を行いますが、主として以下に掲げる要因等により基準価額が大きく変動する場合があります、その運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。

なお、投資信託は貯蓄金とは異なります。

当ファンドの主なリスクおよび、留意点は以下のとおりですが、当ファンドのリスクおよび留意点を完全に網羅してはございませんのでご注意ください。

また、ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。

### < 基準価額の主な変動要因 >

#### 株価変動リスク

当ファンドは、日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な投資対象としていることから、株式の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動および業績、経営方針、ならびに法令順守の状況等に反応して変動するほか、投資対象国の経済情勢および景気見通し、ならびに金利変動、為替相場およびそれらの見通し等にも反応して変動します。したがって、マザーファンドに組み入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落する可能性があります。

#### 信用リスク

当ファンドは、日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な投資対象としていることから、株式の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により損失を被ることがあります。また、金融商品取引の相手方や受託会社の決済不履行または債務不履行等により損失を被ることがあります。

#### 為替変動リスク

当ファンドの実質的な投資対象である先進国および新興国の株式は外貨建資産であるため、当ファンドの基準価額は為替変動の影響を受けます。一般に、主な為替相場の変動要因としては、金利変動、中央銀行等による政策金利の変更または為替介入、政治的要因等があります。

#### 流動性リスク

投資対象となる有価証券の市場規模や取引量が少ない状況や解約資金を手当てするために実質的に保有する有価証券を大量に売却しなければならない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

また、解約資金の手当てが間に合わず、売却した有価証券等の売却代金回収までの期間、一時的に当ファンドで資金借入を行うことによって解約金の支払いに対応する場合があります、その場合の借入金利は当ファンドが負担することになります。

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

# ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド(FW 専用)

追加型／内外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## 投資対象国への投資リスク

当ファンドが実質的に保有する有価証券の発行国(投資対象国)における政治不安や社会不安、あるいは他国との外交関係の悪化などの要因により、投資成果に大きく影響することがあります。また、投資対象国の政府当局による、海外からの投資規制や課徴的な税制、海外からの送金規制などの様々な規制の導入や政策変更等により、投資対象国の有価証券への投資に悪影響が及ぶ可能性があります。

## <その他の留意点>

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

## <リスクの管理体制>

運用部に属するポートフォリオ・マネージャーは約款に定める運用方針に加え、内部ガイドラインを作成し、徹底したリスク管理と厳格なポートフォリオ管理を行います。業務部の運用評価グループは、毎月パフォーマンス分析レポートを作成し、月次収益率と対ベンチマーク超過リターンの算出と要因分析を行います。コンプライアンス・リスクマネジメント部では、全ファンドにおける運用ガイドライン遵守状況を運用部から離れた立場で確認しております。投資政策委員会において投資行動やパフォーマンスに関する運用の報告内容を確認するとともに、毎月末の運用ガイドライン遵守状況等の確認をします。

委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

## ファンドにかかる手数料について

申込手数料・・・ありません。

換金(解約)手数料・・・ありません。

信託報酬・・・日々のファンド純資産総額に年率0.869%(税抜0.79%)の信託報酬率を乗じて得た額とします。

信託財産留保額・・・ありません。

その他の費用・手数料・・・信託事務の処理等に要する諸費用、有価証券等売買時の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の費用、ファンドの監査にかかる費用等がファンドから支払われます。これらは、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

## 収益分配金に関する留意事項

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当収入および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

# ステート・ストリート世界厳選成長株ファンド(FW 専用)

追加型／内外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 【販売会社】

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	—	○	○	—
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	—	○	○	○

※販売会社は今後変更となる可能性があります。

## 【受託会社】

受託会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	—	○	○	—
(再信託先: 株式会社日本カस्टディ銀行)	(登録金融機関)	(関東財務局長(登金)第602号)	(○)	(—)	(—)	(—)	(—)

## 【委託会社】

委託会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第345号	○	○	○	—	—

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。